



新登場

一区画 (約150センチ四方)



一区画 (約80センチ四方)

写真左がファミリータイプ
写真右がお一人様タイプです

従来のお一人様用区画(約80センチ四方)に加え、
ファミリータイプ(約150センチ四方)が新登場。
ファミリータイプは、四名様までの埋葬が可能で、価格も

750,000円 とオトクです。



JR熊本駅から車で約70分
九州自動車道熊本IC・益城熊本空港ICから車で約40分
熊本空港(阿蘇くまもと空港)から車で約30分

県道28号から分岐する場所に案内板があります。
(分岐地点から道幅が狭くなり、登り道となります。)
大型車両の通行はご遠慮ください。
(大型バス、大型トラックは通行できません。)

住所: 熊本県阿蘇郡南阿蘇村久石47

【お申込に際しての注意事項】

お申込に際しては、「自然葬の里」約款を必ずお読みください。
お申込前に現地をご自身の目でご確認くださいことをお勧めします。
自然葬の里は標高約700メートルの位置にあります。従って冬季は降雪等で現地へ行けない場合があります。
お一人様一区画を原則としていますから、ご夫婦や子孫であっても同じ区画内に埋葬することはできません。
区画位置は予約申込順となります。お申込の際にご希望の区画をお選びいただけます。
このパンフレットに記載された金額は現時点のものとなり、将来は変動する可能性があります。

新発想

自然葬墓地＋永代供養

- 永代供養は希望したいけど、費用的になかなか手が出せない
- 身寄りがなくお墓に入っても守ってくれる人がいない
- 身内が遠くに住んでいて、お墓参りなどで過度な負担をかけたくない
- 遠方においてなかなか墓参りもできないので、お寺様に供養をお願いしたい
- お葬式はシンプルなものでもいいけど、供養はしっかりとしたい

こんなお考えの方が「永代供養セットプラン」をご利用になっています



フリーコール 0077-78-1059

自然葬の里 取り扱い くまもと県民葬祭株式会社
〒862-0923 熊本市東区東京塚町19番47号
電話 096-386-1059 FAX 096-297-2186

くまもと県民葬祭 検索

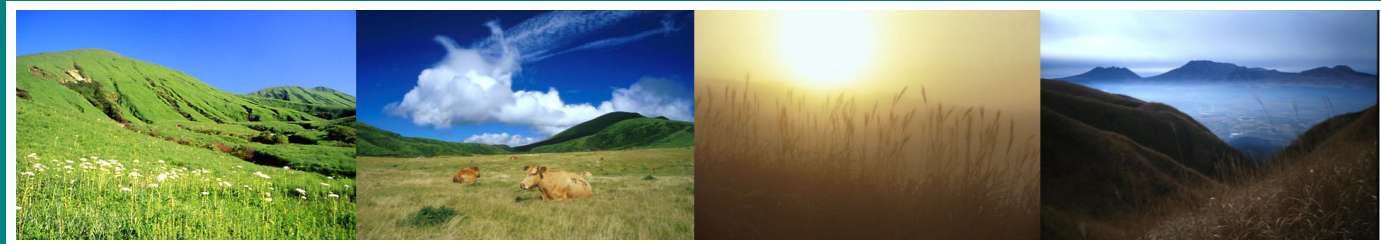
くまもと
サプライズ



くまもとサプライズキャラクター「くまモン」
熊本県第16号許可

阿蘇くじゅう国立公園特別地域内墓地
南阿蘇自然葬の里ご案内





四季折々に美しい
雄大な阿蘇の大自然に抱かれて
永久の眠りを…

南阿蘇「自然葬の里」の特徴

- ① 「自然葬の里」は地目が墓地ですから、遺骨をパウダー状にする必要がありません
(通常散骨を行う場合は、パウダー状に小さく砕く必要があります)
 - ② 世界の阿蘇五岳が一望できる場所にあり、永眠の地として最適な環境の中にあります
(日本で唯一、国立公園内にある墓地です)
 - ③ 通常の墓地などと異なり、墓石(石塔)などが不要なため、比較的安価でお求めいただけます
(年間の管理費や、お寺に対する寄付の強要なども一切ありません)
- ➡ **継承者(後継者)いなくともご利用いただけます**
- ④ 1200年以上の歴史を誇る曹洞宗のお寺が墓地を管理しています
(ただし埋葬される方の宗教や宗派は問いません)

【雲龍山清水寺の由来と環境】



言い伝えによれば今から千二百余年前、この山に住む醜い老婆にお坊様がお経を授けたところ、老婆は龍に化身して天に昇りました。その直後に天空から観音様が現れ、

「日本全国に存在する神社・仏閣の中で、この寺を最後の願い事成就の聖域とする」と勅宣され、西の空に消えてゆかれました。

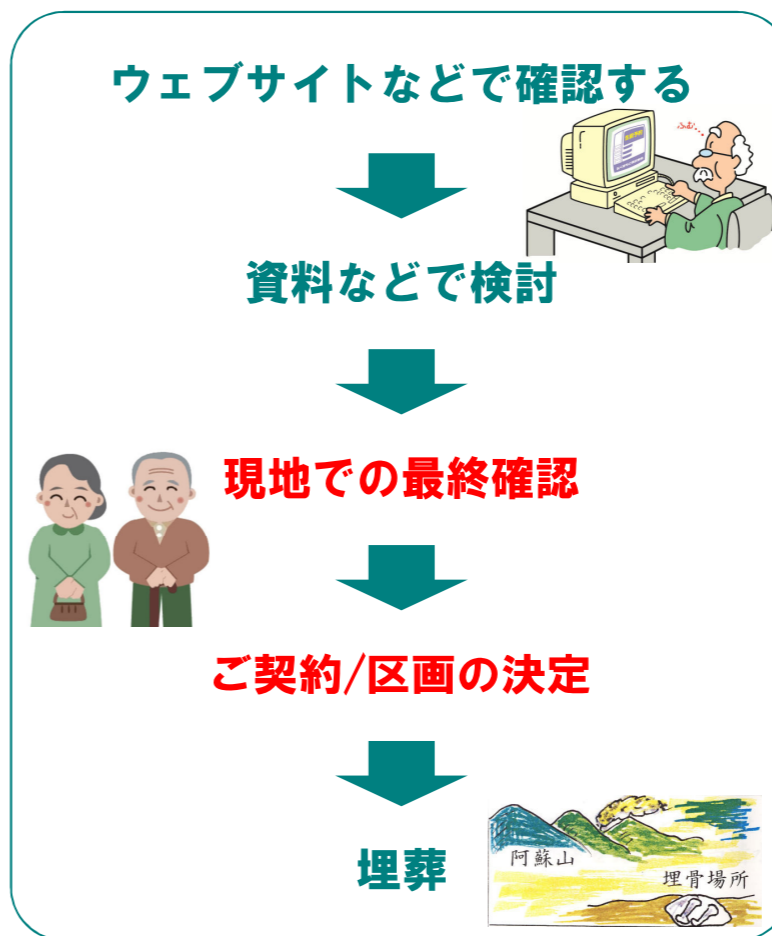
それ以来、ここのお寺を雲龍山清水寺と稱します。

阿蘇外輪山の中腹、標高約700メートルに位置し阿蘇五岳が間近に一望できます。境内にある高さ枝幅とも十数メートルという巨大な梨の原木が春には一面に真っ白な花を咲かせます。梨の木は、推定樹齢400年超とされ、満開の時期には観光の名所ともなっています。

南阿蘇「自然葬の里」は、そんな素晴らしい大自然と由緒あるお寺が管理している墓地で、永久の眠りの地としてはこのような環境にあります。



【埋葬までの流れ】



雲龍山清水寺(南阿蘇村)

火の国をゆく

「かたわぬ願いをかたえてもらふ最後の願み寺」。そう称されるのが南阿蘇村久石の雲龍山清水寺だ。標高約700mの阿蘇・南外輪山の中腹に抱かれた古刹は、人の眼線はどうあるべきかを考えさせてくれる。(寺部祥一)

「最後の願み寺」なのか。寺の縁起書によると、建立されたところに雲龍山(=清水寺の裏山にあたる通称名)に住む老婆に前因がお経を授けたところ、老婆は龍になって天へ。直後に天から現れた観音様が「日本全国に存在する神社・仏閣の中でこの寺を最後の願い事成就の聖域とする」と伝えた。今も寺には、全国からさまざまな願いを抱えた人たちが訪れる。本田

「自然葬の寺」評判も

職は「若い人は健康、高齢の方は『家族に迷惑がかからないように旅したい』などと願を掛けていることが多い」。死に方というのは、だれもが人生の最期に直面する課題だ。

阿蘇・中岳の噴煙が見える寺の敷地内に、生前の俗名を記入した木の墓標が並ぶ一画がある。「墓はいらない。大地にかえしてくれ」。1989年暮れに亡くなった先代住僧で父の清孝さんの遺言に従い、翌年に遺骨を土に埋めた。

以来、自然葬の寺として問い合わせが増え、現在は35区画に埋められ、27区画に予約が入っているという。

後葬やお盆には、本堂でお経を唱え、供養するという本田住僧。遺族・関係者が絶えた埋葬場所にはツツジを植え、花を咲かせ、自然にかえす。

2010年8月22日朝日新聞掲載記事

散骨、埋骨…広がる自然葬

「山が好き」生前予約も
少子化難くなる墓の維持

田口宏昭・熊本大名産教授
進む宗教離れと核家族化

2012年12月2日熊日新聞掲載記事

お申込費用 **210,000円**

費用にはお一人分の区画費用、埋葬時の読経料(希望者のみ)、墓標(木製プレート)代を含みます

更に **+190,000円** で

33回忌までの永代供養がセット

価格は現時点のもので、将来変動する場合があります。
(ご契約後の金額変動はありません。)

お申込・お問合せは…

0077-78-1059

(通話無料) くまもと県民葬祭Aプロジェクト係 まで

<http://www.0077-78-1059.com/shizensou/>
E-mail shizensou@0077-78-1059.com